

# 競技ルール(案)

R6 II 期生徒会

## ★選手交代について<バスケ・サッカー>

- ・補欠含めチームの全員が1試合に出場するようにする。
  - ・メンバー交代については、ハーフタイム(HT)にのみ行う。
  - ・怪我などが発生し選手が競技を継続できなくなった場合は、上記以外にも交代を行えるものとする。
- (交代できる人がいない場合は、人数が減った状態で試合を続行する)
- ・交代する際は、必ず主審に直接申請すること。
  - ・チームによってスターティングメンバーが少ないチームがあるが、特に人数調整は行わないものとする。

## ★リーグ順位の決定方法

- ①勝ち点
- ②得失点差
- ③得点
- ④直接対決での結果
- ⑤それでも順位が決しないうち

サッカーでは、PK戦を行う。(5人制、同点→5人以外によるサドンデス) バスケットボールでは、フリースローを行う。

(3人制、同点→3人以外によるサドンデス)

バドミントンは代表1ペア同士で1点先取の試合(サドンデス)を行う。

## ★運営上のルール

- ・応援は節度を守り、相手チームへの暴言は絶対にしない。
- ・試合前後の手指消毒を推奨。
- ・試合中はマスクを必ず外すこと。
- ・競技前に爪を切り、怪我のないようにする。
- ・試合中は腕時計を外すこと。

## ★【バスケットボール】＜男子・女子＞

### 今年度追加する予定のルール

※基本的に正規の競技と同じルールで試合を行う。球技大会特別ルールは以下の通り。

- ・コート内は各チーム原則5名で行う。(例外は★選手交代について 参照)
- ・男子は1リーグ、女子は4リーグのリーグ戦とし、各リーグ順位 1 位のチームで決勝トーナメントを行う。

- ・試合時間

3Q制16分（第1Q4分-HT2分-第2Q4分-HT2分-第3Q4分）

- ・延長戦は行わない。

※男子の試合と、女子の決勝戦・3位決定戦の場合は試合終了後、即フリースローを行う。

- ・チームの代表者はチーム全員が集まったことを確認して、2試合前までに体育館本部席前に集合すること。試合開始までにコールに来ていない場合はその試合は負けとする。

- ・結果は主審が得点を用紙に記入し体育館本部席まで絶対に報告に行くこと。

- ・主審が危険とみなした行為はファウルとする。

- ・暴言を吐いた選手は、その試合においてのみ即退場とする。次の試合は出場可。

- ・バスケットシューズの全面使用禁止。使用しているのが分かれば、そのチームは失格とする。

(試合前に靴チェックを行う)

- ・試合中にプレイヤーを傷つけないような爪の長さにする。

(試合前にチェックを行う)※爪切りは本部に用意してあります。

- ・試合後、各チーム2名(線審1名、得点1名)が残るようにする。

※残らなかった場合、前試合の得点を 0点とする。

- ・秒数に関するルール(3秒ルールや24秒ルール)はなし。

- ・バックコートは考えない。

- ・トラベリングに関しては明らかにわざとの場合反則をとる。

- ・ファウルは悪質な場合反則をとる。

## 【サッカー】＜男子＞

※基本的に正規の競技と同じルールで試合を行う。球技大会特別ルールは以下の通り。

### 今年度追加する予定のルール

- ・チーム登録は8人から可能。その場合、先生を1人追加し9人で試合を行う。
- ・コート内は各チーム原則9～11名で行う。(例外は★選手交代について 参照)
- ・2リーグのリーグ戦とし、各リーグ上位1チームのみ決勝に進出する。

2位のチームは3位決定戦に進出する。

- ・試合時間は35分（前半15分HT 5分後半15分）
- ・延長戦は行わない。

### ※決勝戦

・チームの代表者はチーム全員が集まったことを確認して、試合開始10分前までに本部に集合すること。試合開始までにコールに来ていない場合は原則その試合は負けとする。

- ・選手交代は必ず主審に申し出てから行うこと。

※ゴールキーパーの交代は主審に申し出た後、両チームが確認する。

- ・暴言を吐いた選手は、その試合においてのみ即退場とする。次の試合は出場可。
- ・スパイクの使用は禁止。使用しているのが分かればそのチームは失格とする。

（試合前に靴チェックを行う。）

- ・結果は主審が得点を用紙に記入し本部席まで絶対に報告に行くこと。
- ・スローインはルールに則る。（ファウルスローあり）
- ・ゴールキーパーは味方のバックパスを手で取ってはいけない。

（ヘディング/胸などキックパス以外のパスはとってもよい。）

＊この反則は、間接フリーキックをとる。

- ・重い反則にはカードが出される。
- ・予選最終試合のチームが三位決定戦に出場する場合、試合が連続することを避けるため決勝戦を先に行い、その後三位決定戦を行う。

・主審は体育委員、副審はサッカー部が行う。

・サッカー部の登録人数の規定は行わない。

## 【バドミントン】＜男子女子混合＞

※基本的に正規の競技と同じルールで試合を行う。球技大会特別ルールは以下の通り。

### 今年度追加する予定のルール

- ・コート内は各チーム原則6名で行う。(例外は★選手交代について 参照)
- ・2人1組のダブルス戦とし、3ペアが同時に試合を行う。
- ・リーグのリーグ戦とし、各リーグ上位2チームのみ決勝に進出する。
- ・試合時間は

通 常 : 10分(21点先取で試合終了)

決勝, 3位決定戦 : 15分(21点先取で試合終了)

- ・延長戦は行わない。

※決勝トーナメントで同点の場合には、1点を先取したペアが勝ちとする。

・チームの代表者はチーム全員が集まったことを確認して、10分前までに本部に集合すること。試合開始までにコールに来ていない場合は原則その試合は負けとする。

- ・選手交代は原則禁止。(主審が試合続行不可と判断した場合のみ許可。)

・暴言を吐いた選手は、その試合においてのみ即退場とする。次の試合は出場可。

- ・バドミントンシューズの使用全面禁止。使用しているのが分かればそのチームは失格とする。

(試合前に靴チェックを行う。)

- ・結果は主審が得点を用紙に記入し本部席まで絶対に報告に行くこと。

- ・コールの際にメンバーの登録用紙を記入する。

- ・試合後、各チーム三名が線審として残るようにする。

※残らなかった場合、前試合の得点を0点とする。

- ・各チームにバドミントン部員が散らばらないようにする。

- ・マイラケットは禁止とする。

- ・1クラスに2チーム以上あり、チームメンバーが欠席した場合はほかのチームからメンバーを補う。

- ・線審は負けたチームが行う。

- ・シャトルが床に落ちる前にネットにタッチした場合、相手に点が入る。

- ・自分たちの持ち点が偶数の場合は右から、奇数の場合は左からサーブを行う。